

世界の人財と日本を テクノロジーでつなぐ

ICTを高度活用した「学習 & 就労支援」プラットフォーム



Wow SPACE Corporation

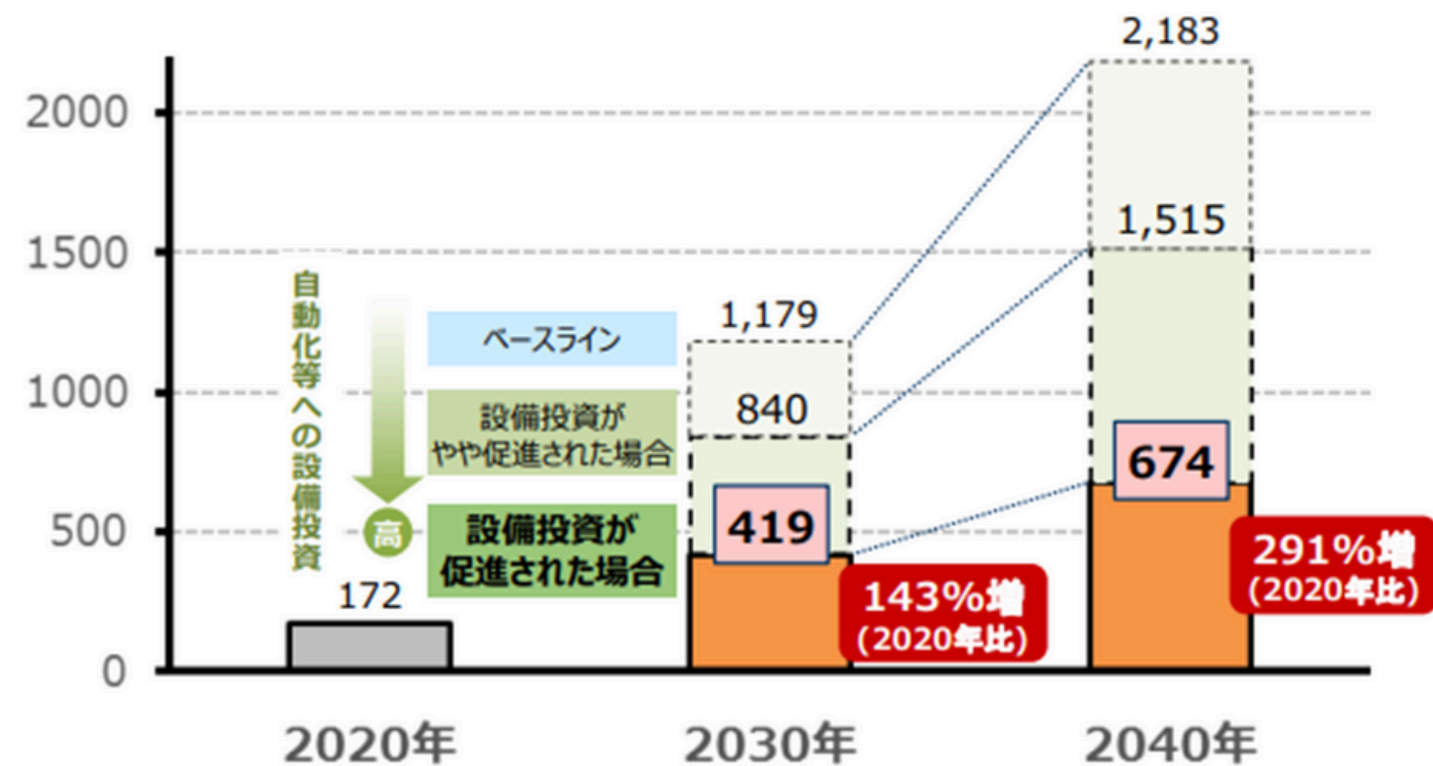
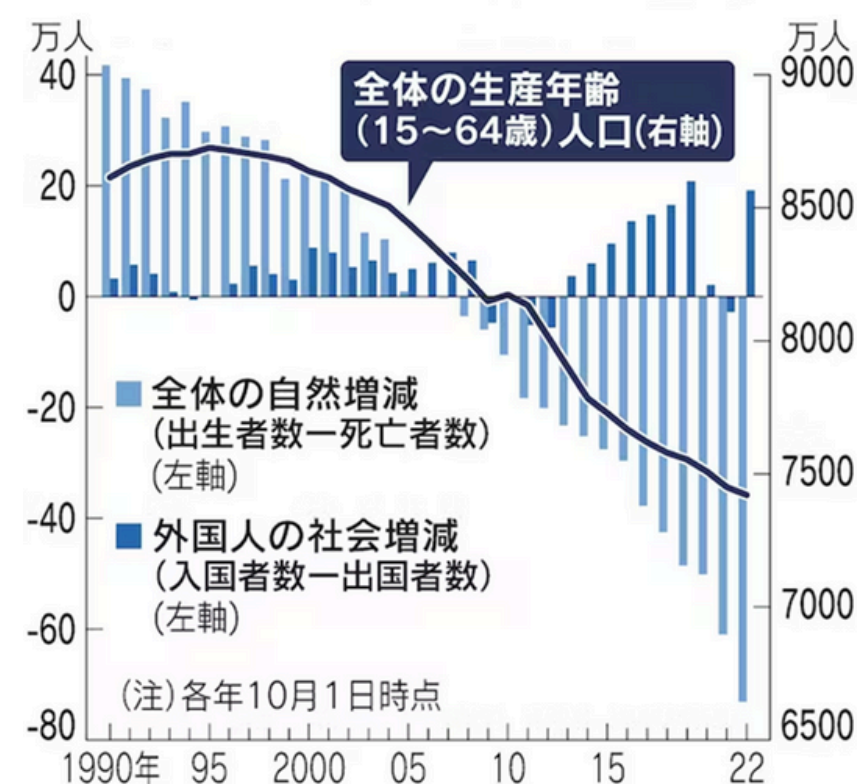
<https://biz.wow-space.jp/>



国内人材の減少、どうする。

外国人が増えても少子化には歯止めがかからず、生産年齢人口は減り続けています。
自動化等（DX化、AI活用、ロボット導入…etc）への設備投資が促進された場合においても、
2030年（6年後）に419万人（現在の倍以上）、2040年には**674万人の外国人労働者が必要**となります。

自動化等が現状のペースで推移すると、2040年には**2,183万人**の外国人労働者が必要です。



自動化等への設備投資が促進された場合でも

5年後

400万人

15年後

670万人

の外国人労働者が必要

- ①高齢者の雇用率→ 日本は既に世界トップ
- ②女性の労働参加率→ 近年急上昇し既に世界トップ圏内
- ③障がい者の雇用率→ OECD諸国の平均レベル
近年法定雇用率の引き上げペースが加速
- ④少子化対策→ 短期的な労働力不足には対応できない

部分的な対策として機能しているが完全な解決策ではない



特定技能制度は、事実上の移民政策
として位置づけられている

現実的に有効な対策は移民政策による
外国人労働者の活用

課題

受入時

職能を具備すること▶▶▶日本語試験 & 技能試験

受入後

熟練労働者となること▶▶▶生活 & 学習サポート

外国人労働者にフォーカスした

EdTech for Workers


WoW SPACE Corporation

V1



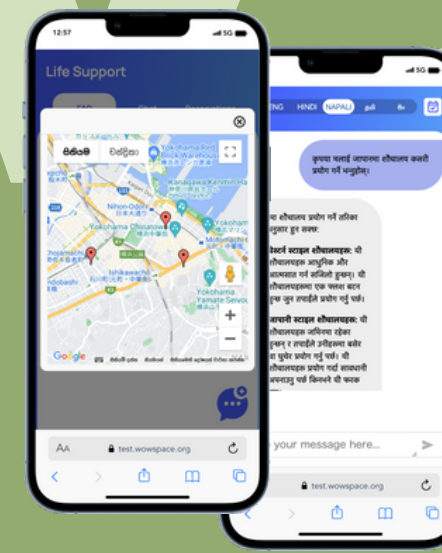
完全無料
学習プラットフォーム
WoW Academy

V2



月額1,900円～ 無制限検索
採用/雇用支援アプリ
WoW Steam

V3



月額5,000円/1人～の福利厚生代行
雇用継続サポート
WoW Support

Ed Tech

Ver.1: 2022年12月ローンチ

完全無料の日本語学習プラットフォームとして、「Ver.1」を2022年12月にローンチしました。スリランカから、インド南部、ネパール、ウズベキスタン…を当初展開地域とし、続いてASEAN各国へも順次展開して行きます。2023年8月には、スリランカに「WoW SPACE Campus」を開校し、日本へ入国する前に、対面型で実践的集中教育を行う体制作りを進めています。スリランカの**早期名誉除隊軍人10万人**もWoW Academyで学習中です。

マッチング

Ver.2: 2023年10月ローンチ

学習履歴データからのコンピテンシーアセスメント情報を可視化して、求人検索からダイレクトスカウトを、サブスクリプションで提供する、「Ver.2」を2023年10月にローンチしました。

月額「4,900円」で企業は検索-スカウト～採用確定～雇用契約締結まで無制限に利用でき、COE・ビザ取得に際しては、「**有料職業紹介料**」と、「行政書士連携費用」を請求するビジネスモデルです。

採用

継続サポート

Ver.3: 2024年5月ローンチ

日本に入国、就労開始した後の雇用継続サポート機能を、「Ver.3」として2024年5月にローンチしました。生成AI+クラウドワーカーで就職後の生活面をサポート。日本語の継続学習（N3～）、ジョブトレーニング（職能技能向上）の他に、生活サポート機能を、従業員1名あたり、**月額「5,000円」**の福利厚生代行サービス料として請求するビジネスモデルです。登録支援機関の既存サービスにインクルードされる事が多くなります。

テック系企業には、グローバルサウスの高度「STEAM」人材をレコメンド



「+」 農業や介護などエッセンシャルワーカーを中心に、特定技能をフォロー

外国人労働者にフォーカスしたEdTech

-教育系スタートアップ-

WoWの3つの強み

提供する3つの価値



3大学連携体制による
豊富な海外人材ネットワーク

学習効果が高い
独自教材の開発能力

生成AI & 機械学習
高度なICT活用能力

日本語学習 -Nihongo EdTech-

Before

初学コース→N5→JFT→N4

採用
After

N4→N3→N2→語学スクール

ジョブトレーニング -Job Training Tech-

Before

SSW1号技能試験

※部門別タスク
マニュアル
(農業、介護)

採用
After

SSW2号技能試験、介護福祉士

「求職 & 生活」サポート -Work Life Tech-

Before

求職サポート（機械学習マッチング）

採用
After

生活サポート（生成AI+クラウド）

EdTech（エドテック）とは、「Education（教育）」と「Technology（テクノロジー）」を組み合わせた言葉。「教育におけるAI、ビッグデータ等の様々な新しいテクノロジーを活用したあらゆる取組」と一般的に定義される。「新しい技術を活用して学習効果をより高めていけるようなサービスや技法」のこと。

採用活動

雇用契約

入国

勤務開始



COE申請

行政書士連携【別途費用】

ビザ取得



着任



50%

有料職業紹介料

50%

原資

入国前教育

2カ月以上 3ヶ月以内

原資

入国後教育

1ヶ月以内

即戦力

ダイレクトスカウト

¥4,900

1企業@月

継続サポート

¥5,000

1名@月

採用したら・・・

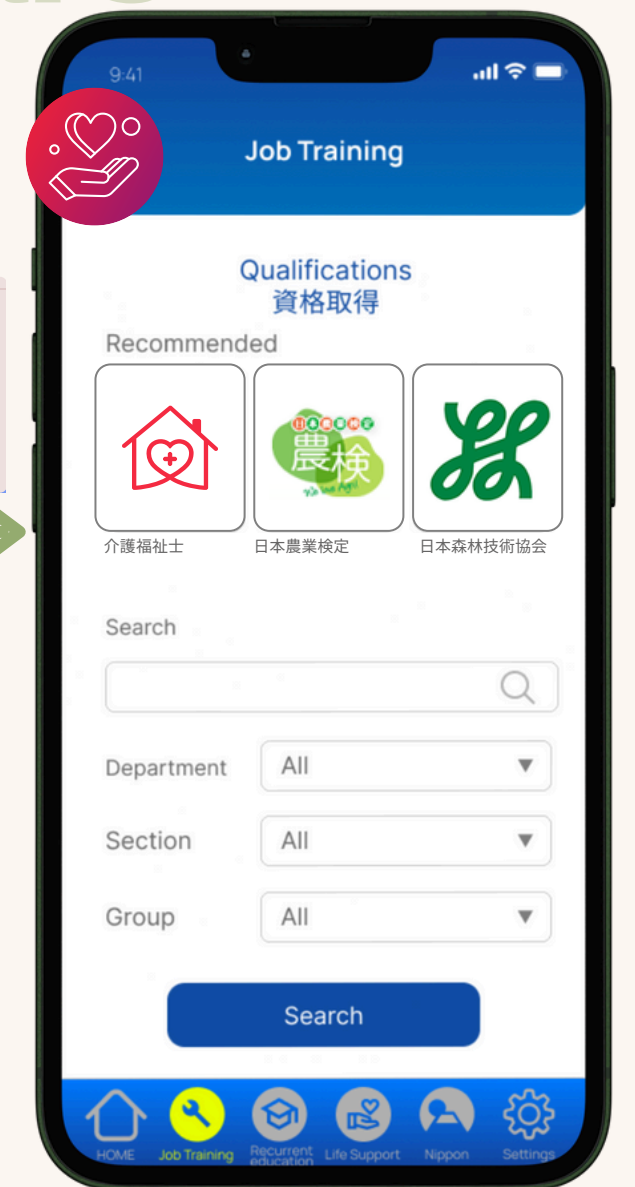
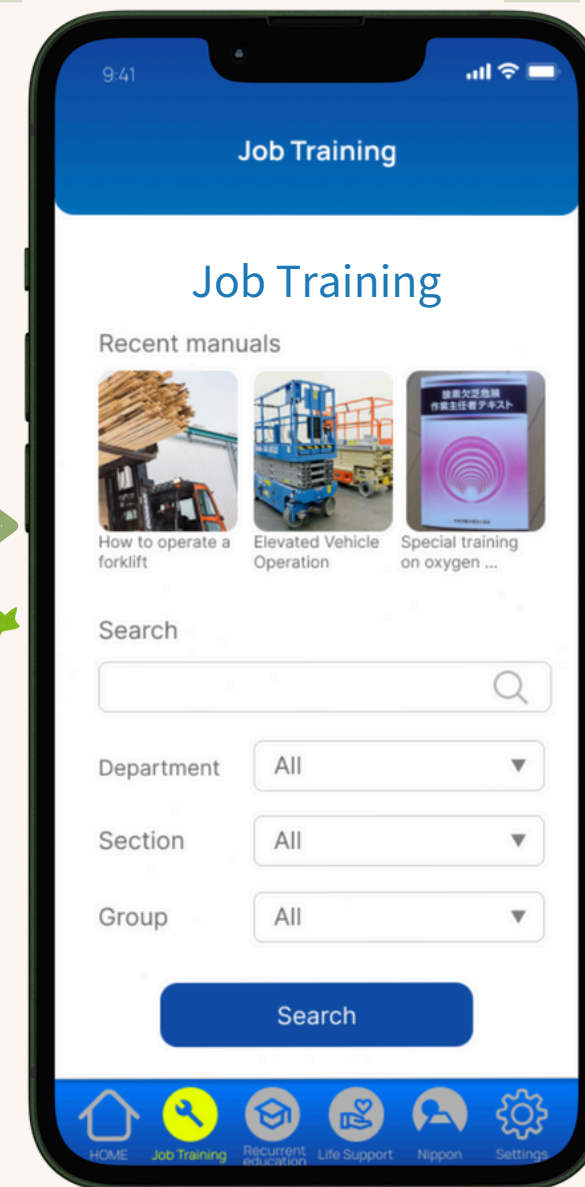
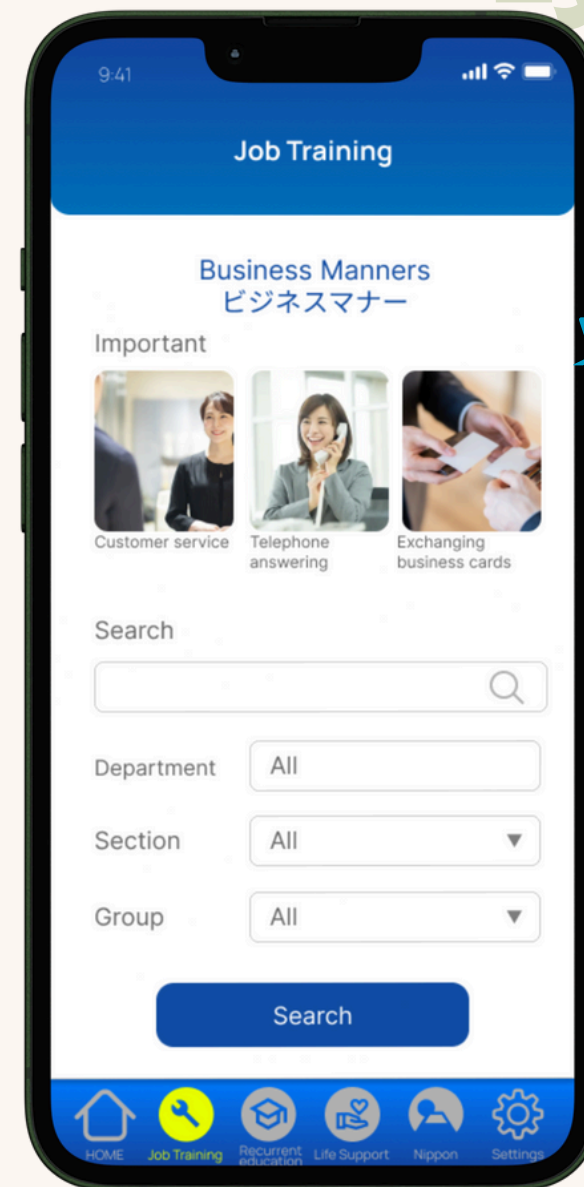
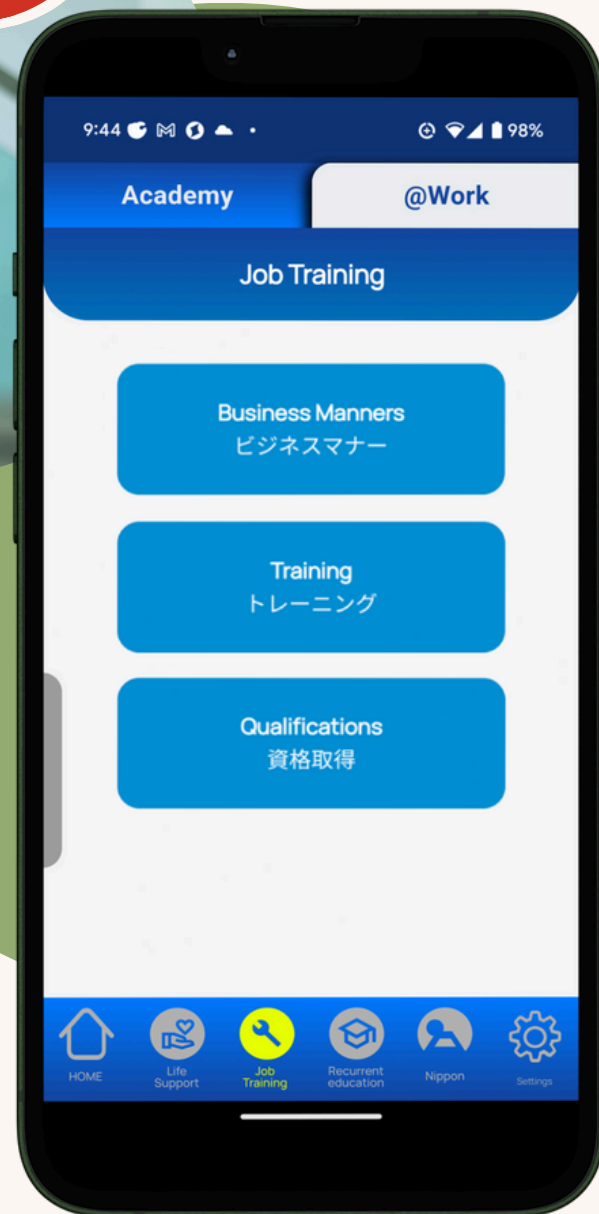
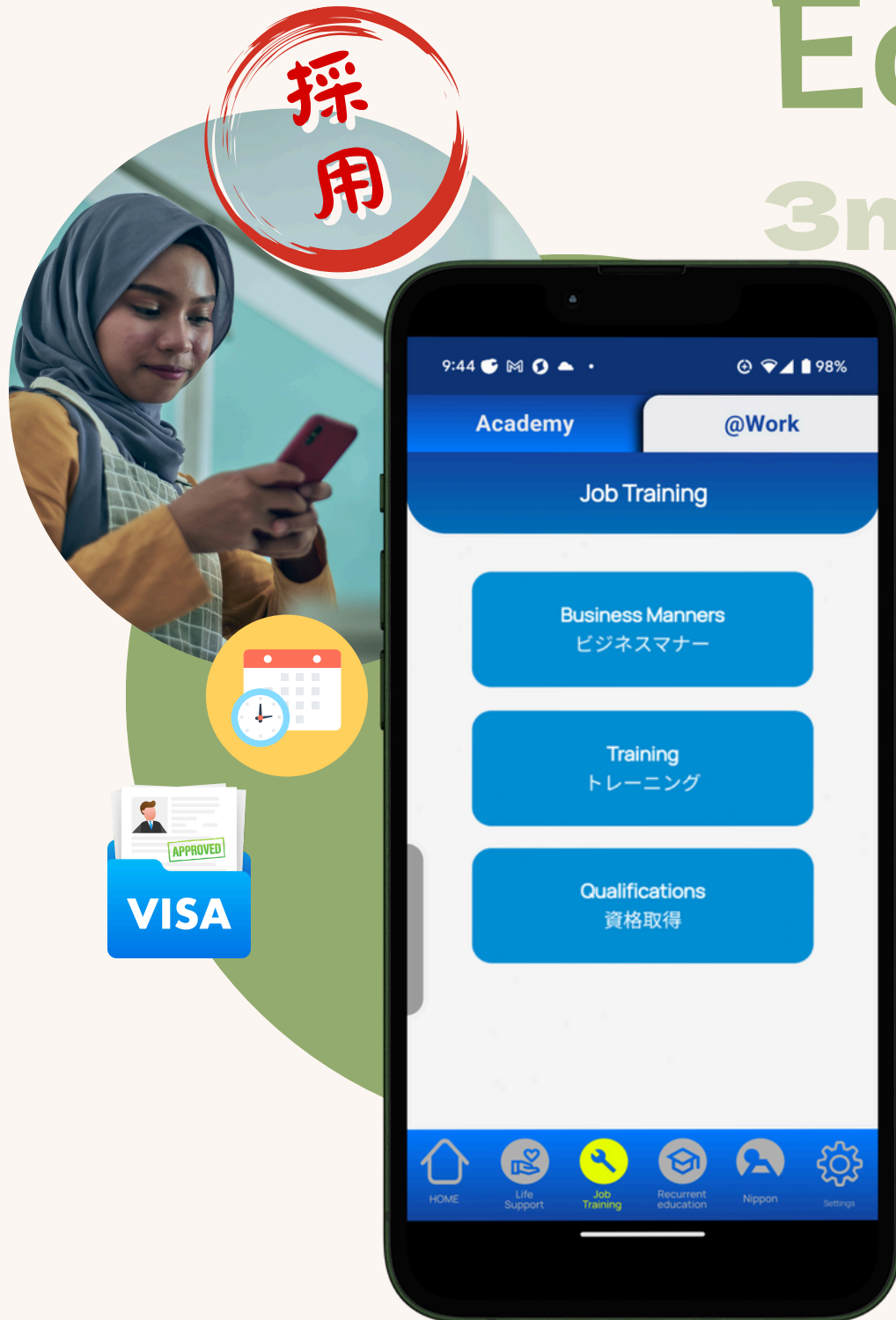
実際の入国までのタイムラグを活用し、事前研修。入国後は職場のOJTをアプリで行います。

ビジネスに必要なスキル習得に EdTechの技術を応用

3months

1year-

2years



採用したら・・・

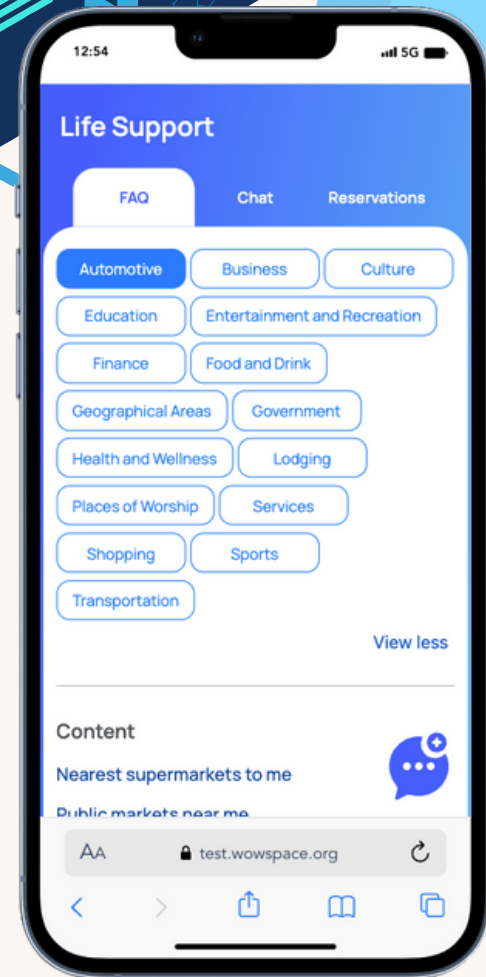
入国後の生活面を、生成AIと母国語話者によるクラウドワーカーにより支援。
同時に日本語の継続学習と、職場での技能向上、資格取得もトータルサポート。

継続サポートDX

生成AIを実装したチャットボットと
母国語話者のクラウドオペレーターを
融合した独自のサポートシステムは
24時間365日ノンストップ！

1人
月額 **5,000円**

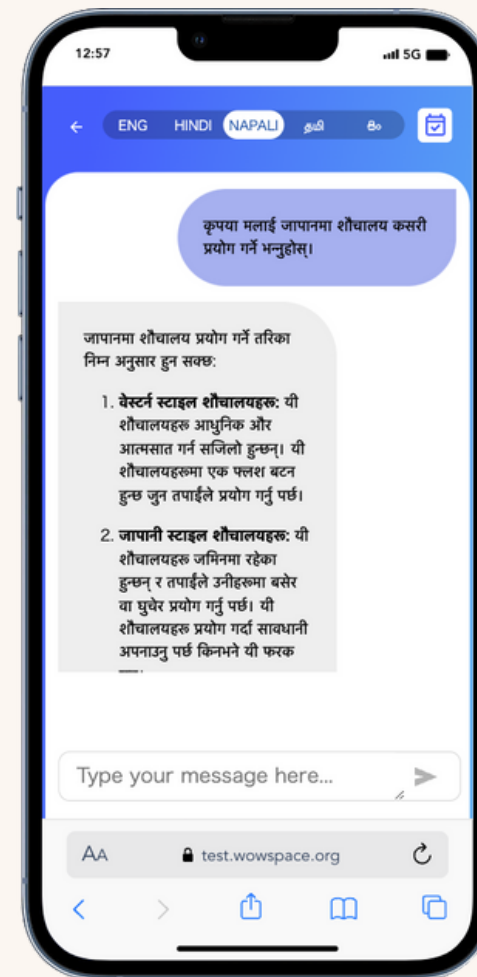
学習効果の高い独自教材を実装した、
日本語学習＆職能技能向上を目的とした
学習プラットフォームも使い放題！



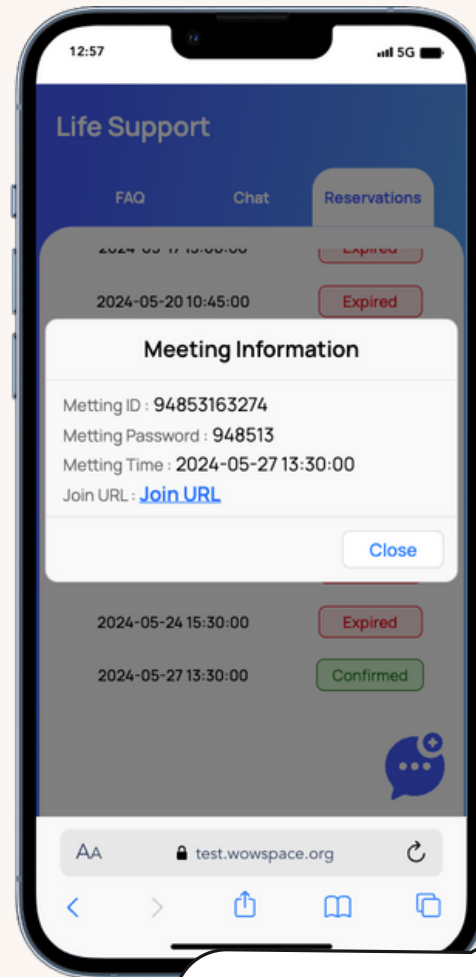
カテゴリー



近隣生活マップ



母国語チャット



困りごとは
ありますか？



日本の慣習が
分からない

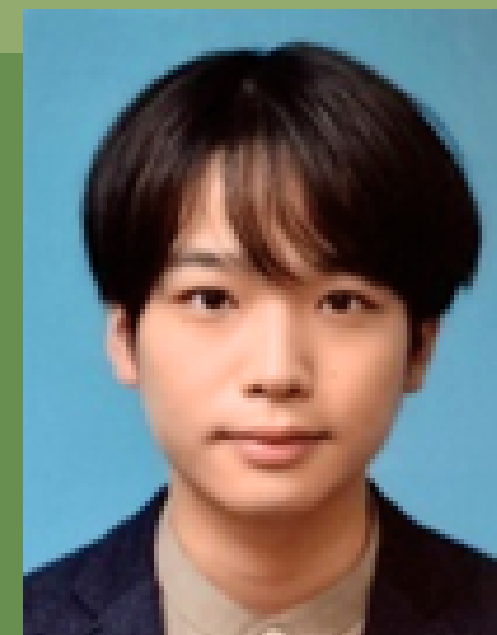
創業の経緯

バイオエレクトロニクスとの遭遇

創業者 三浦の出身地、大分県はシイタケの一大産地。
ふと、「森に落雷するとシイタケの育成が良くなる」
といった話を耳にしました。

母方の実家は美容系の事業を営んでおり、
家には母も愛用する電気美容器具が。

自然に恵まれた環境で成長した三浦が、
そうした器具を改造し生育制御を試みたのがすべての始まりでした。



支援者たちとの出会い

農業から一次産業全体との関りを深める中で直面したのは、生産年齢人口の急速な減少が地方において危機的である事。「海外人材&ICT」活用しか現実的な解決手段はないと確信。

2018年4月

青雲高校2年時に株式会社MITテクノロジーを創業。代表取締役就任。
バイオエレクトロニクスを用いた薬物投与装置を開発。

農作物の生育制御へ応用する研究活動が評価され、立命館アジア太平洋大学の研究パートナーに認定。

翌年、スリランカ政府が主催する「医食同源」をコンセプトとした国家プロジェクトにも研究パートナーとして招聘。

2020年4月

慶應義塾大学 環境情報学部入学 農林業をはじめとした、国内の労働力不足を痛感。

2022年2月

株式会社WoW SPACEを創業。代表取締役就任。

2022年8月

システムのオフショア開発を加速するため、シンガポール現地法人をJV設立。

2023年7月

内閣府「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）」に研究開発副代表として参画。

2023年8月

送出国側で、日本入国前に実践的対面教育を行うため、スリランカ現地法人をJV設立。

2023年12月

AIの処理能力向上を目的とした、ものづくり補助金「グローバル展開型」事業完了。

2024年5月

花卉農業への本格参入のため、「日本えだもの(株)」をJV設立。



顧問

モンテ・カセム

国際教養大学 学長・理事長

沖縄科学技術大学院大学 評議会議長



技術開発サポート

ニシャーント・ギグルワ

立命館アジア太平洋大学教授

教務副部長



教材開発サポート

本田 明子

立命館アジア太平洋大学

教授、言語教育センター



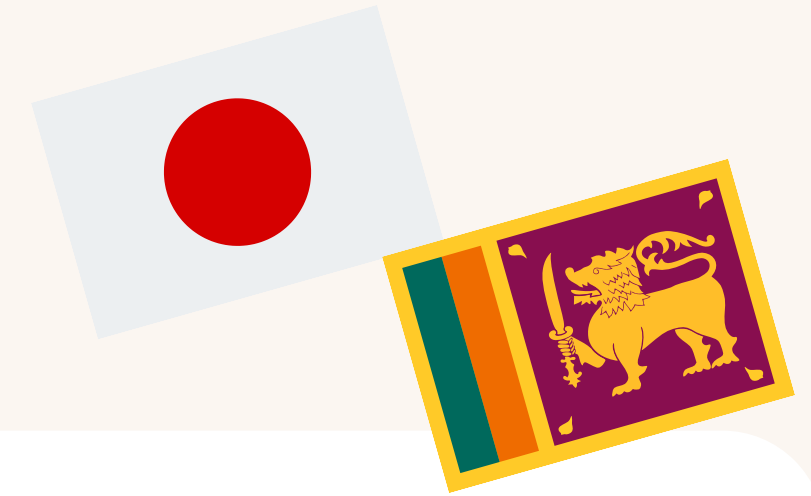
取締役

少徳 健一

SCS-Invictus グループ代表

CPA：Japan/US/Singapore

スリランカとのパイプライン



スリランカ人は、日本語習得力が高く、道德観念が日本に近く、高度STEAM人材が豊富。加えて、下記のような特性があります。

- 親日の仏教国
- 言語の親和性（※）

スリランカ人は、アメリカの出身国別収入ランキングで日本出身者を上回る「平均所得水準」に達しており、シリコンバレーを中心に、その優秀性は広く認知されています。

WoW SPACEは、スリランカ理系トップ大学の「ペラデニヤ大学、モラトゥワ大学」との強固な連携体制に基づき、インド南部の「IITハイデラバード校」…等から豊富なSTEAM人材を紹介出来る体制を整えています。
また、スリランカ陸海空軍の早期名誉除隊者10万人に対する就職サポート支援を担っており、優先的に高度技能者を紹介する事が可能です。

Median Household Income in the United States by Ethnic Group



参考:米国における出身国別収入ランキング

※公用語のタミル語、シンハラ語と日本語は 文法的な類似点が多い。特にシンハラ語話者には、日本語の早期習得者が多く、タミル語圏はインド南部を包含し約4億人の話者がいる。

WoW SPACEは、まだまだ一歩踏み出したばかりです。

ブランディングやマーケティングに強い

企業の皆様との協業を熱望しています。

私たちの事業を世界中に広げることで

まわりまわって日本の未来にもつながるように。

手を取り合えれば幸いです。



<https://wow-space.jp/>

